

### 気候危機と格差貧困に向き合い、「気候正義」と「社会的公正」の実現を！

#### ■深刻化する2つの危機

昨年、「気候正義」を掲げた世界的な若者たちの声や活動が大きく高まりました。この行動は、これまでの世代の経済成長政策を批判し、世代間正義とグローバルな正義を基本的な価値としています。この動きは、私たちに大きな希望を与えています。このところ次々と報じられる欧州の緑の党の躍進も、こうした声を背景にしています。

歴史的とも言える若者たちの行動を突き動かしているのは、未来の世代がより大きな被害を受ける「気候危機」の深刻な状況です。その影響は世界的規模で広がっています。対策には一刻の猶予もありません。

そして、私たちはもうひとつの危機にも直面しています。それは格差と貧困の拡大であり、これを解決できない不公正な政治です。昨年7月の参院選の歴史的低位投票率は、既成政党が「安心・信頼の社会保障」を実現する政策で応えることができず、多くの有権者が政治に希望を託すことができなかったことの反映でもあります。

そして、これらの危機は密接に関連し、相互に影響し合っています。無限の利益と成長を求める経済活動が、産業革命以来続く気温上昇をもたらし、いのちや人間らしい暮らしを脅かしてきました。そして気候変動の影響は、途上国の社会・経済や貧困層の暮らしを直撃しています。

#### ■緑の党が掲げるべき政策の柱

上記の問題は、気候危機に対処することと公正な社会をつくることが切実かつ一体の課題になっていることをあらためて明確に示しています。私たち緑の党は、これまで以上に、気候危機の回避と社会的格差の是正を結びつける新しく斬新なビジョンを打ち出し、以下のように、相互に関連する経済・社会政策を掲げる必要があります。

- 1) エネルギー消費・需要の大規模な削減とともに、再生可能エネルギーの飛躍的拡大、市民や地域がコントロールする「地域小規模・分散ネットワーク型」の持続可能な経済・エネルギー構造への転換、化石燃料からの早急な脱却、そのために炭素税の普及と拡大を図る。
- 2) ベーシックインカム（BI）など普遍主義的サービス給付を含む社会保障、雇用、再生可能エネルギー拡大などのために、不公平税制を大胆に是正し、それによって政府の財政拡張を実現する。
- 3) また、BIの財源には炭素税を用いるなど、気候危機対策と社会保障を一体的に組み合わせた施策を積極的に活用すべき。途上国の気候危機対策への支援も強化されなければならない。
- 4) さらに、政府による財政支出に加えて、銀行・企業・民間に蓄積されている資金を「緑的」な事業・活動への投資や循環を誘導するような経済施策も積極的に採用する。

#### ■緑の党こそが二つの危機に立ち向かう役割を果たそう

新自由主義経済政策による徹底的な自由化や規制緩和によって格差と貧困が拡大し、その転換はいまだ実現されていません。深刻化する気候危機はこれからの10年が人類の岐路といっても過言ではありません。緑の党こそが、この二つの歴史的課題を最も重視し、世界の仲間たちとともに、その解決にむけた役割を担う政党をめざすべきです。

2020年が歴史の岐路に立っていることを肝に銘じつつ、以上、決議します。

### ＜補足説明＞

- ・「掲げるべき政策の柱」で掲げたようなビジョン全体を「反緊縮グリーン・ニューディール（GND）」とするべきという意見がある一方、GND の名称・範囲・内容などについては運営委員会内部でも議論があります。

（下記資料参照）

- ・地域代表協議会では

① 緑の党が重視すべきは気候危機問題であって格差問題は他の政党もやっている

② 「投資」（企業が儲けるためのもの）を政策に盛り込むことは反対 といった意見が出ましたが、

- 運営委員会としては

① 2つの危機が結びついていることを明らかにしながら、その対策についても関連させながら取り組むことこそ意義がある

② 企業の投資の動機は確かに「利潤」であるものの、一方で気候危機や社会問題に関する世界的な関心の高まりが投資家や企業を動かし、石炭ダイベストメント運動や ESG 投資（環境や社会に配慮した投資）の流れを作ってきた。その意味でも、緑的な方向への資金の誘導や制御が必要かつ重要であり、掲げるべき政策のひとつとして盛り込むべき と認識しています。